

平成31年2月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成31年2月分について、輸出は「電気計測機器」、「科学光学機器」などが増加したものの、「電気回路等の機器」、「自動車用等の電気機器」、「自動車の部分品」などが減少したことから対前年同月比4.2%の減少となった。また、輸入は「有機化合物」「魚介類及び同調製品」などが減少したものの、「航空機類」、「医薬品」、「原動機」などが増加したことから、同9.3%の増加となった。

その結果、差引額は92億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	795億円	▲4.2%	886億円	+9.3%	▲92億円	—
	22カ月ぶりの減少		2カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	76億円	+17.4%	輸入	増加品目	(1) 航空機類	99億円	+203.7%
		(2) 科学光学機器	38億円	+20.0%			(2) 医薬品	96億円	+52.9%
		(3) 航空機類	15億円	+44.0%			(3) 原動機	116億円	+38.2%
	減少品目	(1) 電気回路等の機器	42億円	▲21.9%		減少品目	(1) 有機化合物	51億円	▲61.9%
		(2) 自動車用等の電気機器	20億円	▲26.5%			(2) 魚介類及び同調製品	11億円	▲58.9%
		(3) 自動車の部分品	67億円	▲9.4%			(3) 半導体等電子部品	51億円	▲19.9%
	主要地域 増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				主要地域 増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少		

（参考）ドルレート・・・109.66円（前年 109.26円）0.4%の円安ドル高

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。